



広島市歯科医師会だより



一般社団法人広島市歯科医師会

12 月号

Hiroshima City Dental Association

No.152 (R1.12.12)



目次

行事報告

平成 31 年度「8020」いい歯の表彰式ならびに

「グランドビューティフル歯ッション賞」認定証授与式 1 ページ

広島ホームテレビ「いい歯の日」特集での啓発活動 1 ページ

薬と健康のやく薬フェスタ 2 ページ

広島市歯科医師会第 1 回 学術講演会 2 ページ

第 58 回 広島県歯科医学会 3 ページ

歯・口の外傷対応パネル及びティースキーパーネオの

寄贈における感謝状贈呈式 4 ページ

役員自己紹介(谷巖範理事・花岡宏一理事・水内裕之理事) 4 ページ

会長コラム『柔しく剛く』 8 ページ

支部だより

中区支部 9 ページ

東区支部 9 ページ

南区支部 10 ページ

西区支部 11 ページ

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起きていますー(総務部) 13 ページ

今月の知っておきたいこと(広報部) 14 ページ

FM ちゅーピー(広報部) 16 ページ

誰もが納得！ I ♥ 広島弁じゃけえ。(広報部) 17 ページ

11 月定例理事会報告 17 ページ

行事報告

平成31年度「8020」いい歯の表彰式ならびに 「グランドビューティフル歯ッション賞」認定証授与式

日時：11月8日(金)午後3時30分

場所：広島市役所本庁舎2階「講堂」

標記の会が、広島市8020運動・歯周病予防推進協議会(本会、安佐歯会、佐伯歯会、安芸歯会、広島市)の主催で松井一寛広島市長臨席のもと開催された。

初めに熊谷宏広島市歯科医療福祉対策協議会会長の挨拶があり、受賞者の方々へ「お口の健康のリーダー」として、自らがどのようにお口の健康を保ってきたのか、地域で伝えていただくようお願いがあった。

続いて、松井市長の挨拶の後、表彰に移り、「8020」いい歯の表彰では男性287名、女性382名の計669名(本会管内272名)の表彰者があり、参加した167名に表彰状と記念品が贈られた。

また、単に歯が綺麗というだけでなく常日頃からデンタルフロスや歯間ブラシを継続的に使い、歯周病予防に

努めておられる方を認定する「ビューティフル歯ッション賞」には914名の方が認定された。

その中から特に口腔の健康意識に優れている方を表彰する「グランドビューティフル歯ッション賞」には67名が認定され、4地区(広島、安佐、佐伯、安芸)の代表4名に認定証と記念品が贈られた。

その後、八條範彦広島市議会副議長、甲野峰基県歯会会長代理の石田栄作県歯会副会長から来賓祝辞があり、澤村豊広島市歯科医療福祉対策協議会副会長の閉会の辞で式を終了した。

参加者は大変お元気な方ばかりで、市民の歯と口の健康への関心の高さと、本事業の重要性についてあらためて認識するとともに、今後とも我々は、お口から広島市民の健康の維持、向上に寄与していきたいと考えている。



(左) 表彰式の様子 (右) 表彰の様子

広島ホームテレビ「いい歯の日」特集での啓発活動

放送日時：11月8日(金)午後4時45分

収録場所：県歯会館1階「広島口腔保健センター」

「いい歯の日」にちなんで、広島ホームテレビの情報番組「みみよりライブ5up」の特集への取材依頼があり、本会から若林大輔地域歯科保健部理事がインタビュー取材を受けた。

『11月8日は「いい歯の日」!』というタイトルで、11月6日(水)に広島口腔保健センターで収録が行われ

た。収録は「肩こりの原因は歯が原因の可能性はある」として、TCHによって生じる様々な健康不良と、改善方法についての内容で話をを行った。また、歯みがきの方法、歯磨剤の量、歯ブラシの交換時期など、口腔清掃に関するクイズについてアドバイスを行った。



出演した若林大輔本会地域歯科保健部理事
(テレビ画面より)

薬と健康のやく薬フェスタ

日時：11月10日(日)午前11時

場所：広島駅南口エールエール地下広場

広島市薬剤師会主催により標記の会が行われた。今回は、本会の山崎利恵学術部委員が、「歯磨材とホワイトニングについて」と題して、前半は歯周病予防やう蝕予防等様々な目的に合った歯磨材の説明を、後半にはホームホワイトニングやオフィスホワイトニングの違いについて解説を行い、最後に歯科医師を介さないインターネット上で販売されているキットに対して、その危険性についての講演を行い、会場聴講者や薬剤師会から好評を得て終了した。



講演をする山崎利恵学術部委員

広島市歯科医師会第1回 学術講演会

日時：11月10日(日)午後1時15分

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

快晴の行楽日和の中、広島県歯科医師国保組合の15分説明会に続いて、西宮市開業の米澤大地先生から『補綴か矯正か？その臨床判断のポイント』と題して歯周、審美、咬合の観点から御講演頂いた。

部分矯正や、歯周病等が伴った場合の病的歯牙移動の改善は、矯正専門医院ではあまりやりたがらないことが多い。それらの矯正治療をGP自らが行うのか矯正専門医院に紹介するのは別として、全顎矯正もしくは部分矯正のどちらかを行うかの判断については、GPがすべきではないかとの問題提起から講演が始まった。ここで言う全顎矯正とは一種の咬合再構成治療であり、部分矯正は咬合を変化させないでなるべく短期間で行う手段として定義している。

矯正治療によって改善する項目としては、①歯周環境の改善、②審美性の改善、③咬合の改善の3点を挙げられ、その順で話があった。

審美性や咬合の改善は、全顎矯正でないと難しい場合が多いが、歯周環境の改善においては、部分的な矯正治療でも対処できるものがあることを紹介された。具体的に、IPRによる叢生の改善や矯正用スクリュアアンカーを使った臼歯部の整直、モジュールを使った歯冠離開のメリットなどである。

審美性の面からは、補綴分野において、顔貌の分析はミッドライン、スマイルライン等Dental-Facial analysisに留まることが多いが、矯正分野においては、Cranio-facial analysisも加えて判断することが普通で

あることの解説があり、GPも教養として頭に入れられておいた方がよいとの説明があった。

咬合の改善の面からは、補綴の咬合と矯正の咬合のゴールの違いをお話しになられた。最後にアンテリアガイダンスやアンテリアカップリングの重要性について話があり、講演時間の3時間が終了した。

本会主催の学術講演会では10年以上ぶりの「矯正」をテーマに今回取り上げたが、71名の参加があった。これからも様々な分野を幅広く、基礎的なことを厚めに、講演会を企画していきたいと考えている。ご興味を持てるテーマの時は、参加頂けると幸いです。

現在『一から見直す根管治療の基本術式』を本会会員の吉岡俊彦先生に12月5日(木)より毎月1回、3回シ

リーズで御講演頂くのと、来年5月17日(日)に熊本市開業の永田省藏先生に多数歯欠損補綴等について御講演頂くのが決定している。



講演をする米澤大地氏

第58回 広島県歯科医学会

日時：11月17日(日)午前9時

場所：県歯会館2階

標記の会に、県歯会が実施する「保育施設における歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議」の委員長を務める有馬隆理事及び副委員長を務める加藤正昭地域歯科保健部前副委員長らが参加した。

本事業は、県内各保育施設の担当者や嘱託歯科医等が自園の歯科保健水準の評価や歯科保健計画の策定を行う際に有用な資料の作成を目的として、平成30年4月1日より令和2年3月31日を実施期間と定めて、①保育施設より学校保健統計調査と同様の健診データの提出を受け、各指標を算出する、②保育施設及び保護者を対象としたアンケート調査により、保育施設での歯科保健に対する意識、歯科保健教育の実施状況や内容、園医関与の実態等について明らかにする、③①及び②に基づいて保育施設における歯科保健活動振興策を検討し報告書を作成する、等の調査活動を行っている。

加藤前副委員長が本学会において、「広島県内保育施設に在籍する年長児(5歳児)のむし歯罹患状況等に関する調査」と題して、上記の調査において判明したむし歯(う歯)のある者の割合、処置完了者の割合、一人平均むし歯本数等の統計値及び調査結果に対する考察等を発表した。広島県全域を対象とした調査において、これらが把握されたのは今回が初めてであることもあって、会議の取り

組み興味を持った学会参加者から、多数の質問や今後の事業に関する要望が寄せられた。

本調査会議は令和2年3月までに事業報告書を作成し、県内保育施設や行政機関等に配布した後、2年間の事業期間を終えることにしている。



参加した加藤正昭地域歯科保健部前副委員長

歯・口の外傷対応パネル及びティースキーパーネオの 寄贈における感謝状贈呈式

日時：11月27日(水)午後6時15分

場所：広島市中区役所6階「教育委員室」

一般社団法人広島市歯科医師会は、市立小学校142校、市立特別支援学校1校の児童生徒に対して、学校歯科保健に活用目的に「歯・口の外傷マニュアル」(日本学校歯科医会が昨年作成)及び歯の保存液「ティースキーパー『ネオ』」を寄贈した。

それに対し糸山隆広島市教育長より熊谷宏本会会長に感謝状が贈られた。

この感謝状贈呈式には、糸山隆広島市教育長、本会より熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、有馬隆理事、若林大輔理事、藤田友昭理事、水内裕之理事が参加した。

参考：歯・口の外傷マニュアル

<https://www.nichigakushi.or.jp/download/file/gaisyomanual.pdf>



(左) 感謝状受領の様子 (右) 贈呈式に出席した役員と糸山隆広島市教育長

役員自己紹介

谷巖範理事

広島市歯科医師会にて厚生部担当理事を務めさせていただくことになりました谷巖範と申します。平素より、諸先生方ならびに事務局の皆様には大変お世話になっており、この場をお借りして感謝、御礼申し上げます。この度、熊谷会長の肝いりで、福利厚生等のさらなる充実を目的として厚生部が新設され、その担当理事ということで、責任を感じております。至らない点が多々あるかと思いますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて近年、私の人生観を変えた出来事が2つあり、今の私の支えとなっております。

まず、ここ10年くらい私が興味を持っている政治・経済ですが、それは株価に大きな影響を及ぼすということが当たり前の話ですが身をもって感じております。政治・経済を読み、関連する保有株が目の前でストップ高になる、もしくは目標設定した値を出来高を伴って大きく超えていく様に出くわすと、経済活動のもつ熱気・パワーに圧倒され、それこそ目に涙が溢れ、マスクは濡れ、診療しようにも前が見えない状況になります。し



委員会旅行での熊本にて

かし、ある日ポチっと利確をした直後、ちょっとした診療をしたある高齢者から「ありがとう」と言われたとき、利確とは異質の何とも言えぬ幸福感を覚えました。あー、幸せってお金じゃないんだな、と。この時、仕事として一生歯科医師を全うしようと心に決めたのであります。

もう1つは、当初はなんとなく歯科医師会会務をしておりましたが、鮮魚・生肉・珍味に舌鼓を打ち、



政治経済を教育すべく
国会議事堂にて

働く。このスパイラルを、諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜りながら新生厚生部からも発信していければと思っております。

美味しいお酒をたしなみながら、先輩の先生方と接することで、いつの間にか己の考え方が変化しているのに気付いた瞬間がありました。なんだかよくわからないが、折り返しに入り限られた残りの人生を歩んでいるさなか、いろいろな経験が診療のヒントになることもあれば、医院経営にも役立っているなあ、と実感したのです。

社会奉仕活動である歯科医師会活動を通じた、診療から離れたいろいろな経験・刺激が、長いようで短い人生を豊かにし、それがさらに医院経営にプラスに



USJにて。寿命が確実に縮まりました。

花岡宏一理事

この度、学術部理事を拝命しました花岡宏一と申します。矯正治療を生業にしておりますのに、一般歯科を主とする先生方の学術講演会などを企画する部を預かることになりました。『なぜ?』皆さん、そう思いますよね。私もそう思います。さらに歯科医師会に入会して直後に学術部に配属されて4年しか経っておりません。恐らく、打診を受けた時は会長がご多忙で

あった為、電話番号間違えたと推察しております。大変なことでございます。

生い立ちですが、南区の皆実小学校から、毎日、家の近くにある修道と広大附属という名門2校を通り過ぎ、わざわざ40分かけて、まあまあの坂道が途中にある広島城北中学、高校に通学しました。予備校生という身分を1年間試した後に、まあまあの坂道が途中にある九州歯科大学に進学しました。一応硬式テニス部というところに所属し

現在、不摂生時



20年前、摂生時

ておりました。その後、6年間広島大学歯科矯正科に在籍し、現在12年間父の医院で診療をしています。

家族は妻が1人(2人以上いたらおかしいけど)と、子供が3人います。全員完全なる内弁慶で、家に帰ると大概誰かが獣の様に泣き喚いております。動物園に行く必要がありません。

趣味ですが、本当に無いんですよ。他の理事の自己紹介映えしそうな趣味入りの紹介文を読んで、焦りしかありません。何となく色々かじることは多いので、解ったフリをするのですが全てハツタリです。運動もそんなにできません。これらの写真もハツタリなのです。ですので、詳しく話せばペラッペラの知識や経験ということがバレルことでしょう。それらの知識は、ほぼ漫画から手に入れております。一番漫画に嵌った時は大学入学時ぐらいですが、週刊誌を5つ、月刊誌1つにて連載されている面白く無い漫画まで含めて全てを読み、その全て(約100個になりますか)のあらすじを全て1週間覚えており、迷うこと無しに話の続きを読んでいたという才能を駆使して知識を習得していました。しかし、現在はその才能は失っておりますので、必ず前回の話を読み直さないと意味が解んなくなってきました。今は始皇帝の時代の話である「キングダム」は買い揃えております。また、最近で言えば、「二月の勝者」という東京の中学受験がテーマの漫画を大人買いし、東京の小学生は熾烈なのねと、薄っぺらい知識を習得してしまいました。

そんなハツタリを駆使して任期を務めようと思っておりますので、突っ込んだ質問などせず、どうか生暖かく見守ってくださいませ。

水内裕之理事

このたび広報部理事を拝命いたしました水内裕之です。情報調査部理事から4年のブランクが空いたこと、担当部が変わり不慣れなところも多々あるかと存じますがこつこつと粉骨砕身努力いたしますので、なにとぞよろしく願いいたします。ブランクの期間、広島駅前の再開発に地権者として関わり広島市の玄関として、広島市のためにという想いで、非常に大変でしたが地域の皆様と苦勞して形作ったのは貴重な経験でした。精魂尽き果てたところに新執行部からお誘いのお話がありまして、断る理由 いや 断る元気がなくあれよあれよと現在に至っております。会務に溺れる事なく過ごすのが精一杯の毎日です。

振り返ると平成13年に入会後、歯科医師会会務に16年携わってきました。

森本執行部から始まった「歯科医師会だより」を継承し、激動する世の中で歯科界を取り巻くあらゆる情報を会員の皆様に提供して行く姿勢は情報調査部より持ち続けております。いかに会員の皆様に「広島市歯科医師会だより」がより身近な存在になれるか、広報部のメンバー全員で知恵を絞りながら一燈照隅の心構えで取り組む所存でございます。令和元年7月号よりだよりをカラー化せよとの指示を受け少しずつ手を加えていますが、ここまでのかがでしょうか？

また既存の春に発刊の「太田川」、FMちゅーピーでの歯科情報発信は継続して行く予定です。会員の先生方におかれましては、ご意見ご要望いただきますことをお願いいたしますとともに、どうぞよろしくお願



2014年4月大瀬良投手プロ入り初勝利の号外をゲット

いたします。

私の趣味としては最近はおっぱら野球観戦でしょうか。診療室がマツダスタジアムに近いせいか家族で足を運ぶことが多いです。野球のルールがわかるようになった一人娘が小学校3年生になってから旧市民球場でのカープ戦をよく連れていきました。2009年新しくマツダスタジアムが診療室の近所にできた時も近隣地域のお披露目会で球場の中を見る機会があり、芝の緑色が大変綺麗だった感動は忘れられません。

ここ数年、カープは強くなりましたね。今年は不本意な成績になりましたが、みんなで補い合いながら強くなっているチームです。今年のメンバーは3連覇した時のチームとはガラッと変わって若手が頑張らないといけない状況でした。その中でもがき苦しみながら勝利を積み重ねていく姿勢は、ファンにとって勇気と希望をもらえる存在です。



2017年8月試合前の腹ごしらえ

ストレスフルな仕事の後、テレビやラジオ、ネットでカープの試合経過をみて一喜一憂し発散になったり逆にさらにストレスがたまったり、10年以上前のことを思い出すと、そんな今が幸せだなと感じたり。

ストレス多い毎日をごすにあたり自分の中で気をつけたいことは「怒り」のコントロールです。

「There are three sides to every story」という表現は18世紀イギリスの詩人ジョセフ・アディソンの「The Spectator」という1711年-1712年の2年にわたる日刊紙の中で使われたもので、「すべての事には3つの側面がある」、それは「your side(あなたの側)」、「my side(私の側)」、「the right side(本当の側・事実)」という意味 だそうです。学生時代 洋楽ばかり聴いてストレス発散していた中でボストン出身のロックバンドExtremeの1992年リリース、Ill sides to every storyというアルバムで知ったのが初めてです。大学生活を送る中で理不尽なことに直面するたびにこの言葉を思い出し、自分の感情のコントロールをしようと努力しておりました。27年経過した現在、日々の診療、カープの応援を含む日々の生活の中で 毎日穏やかに平常心でハッピーに過ごしたいといつも思うのですが、人生毎日が修行です。なかなか思うようには事が運びません。皆自分の都合でものを考え行動します。バランスよく3つの側面を俯瞰して見れたら良いのですが、相手の側をよく見すぎると自分が我慢をしないといけなくなり、人のせいにしてしまえば自分が楽になりますが自分の事を棚にあげることはできません。(それができればどれだけストレスが減ることか。)

歯科医療を通じて広島市民、歯科医療従事者 皆がハッピーになれるという関係性ができればという気持ちを持ち先輩歯科医師の想いを継承しつつ会員皆様のお役にたてるようこれからも取り組んでいきたいと考えております。今後とも会務に対してご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今月号で三役・理事の自己紹介は終了です。次号は監事の先生方を紹介いたします。今後は支部の紹介や各部委員の先生方の紹介をしていく予定です。

会長コラム (第5回)

柔しく剛く

広島市歯科医師会に
おける親睦について

熊谷 宏

私は会長基本方針において、「本会は乗り越えるべき多くの節目を経て安定飛行に入った今こそ、会員相互の絆を深める共益事業の充実が必要である」旨を述べました。今回、会員親睦事業を主たる職務とする厚生部(谷巖範理事)を設置したのはそういう思いからです。

広島市歯科医師会は公益の視点やオートノミー(自律性)を持つことが必要ですが、会員一人一人に会への帰属意識、愛会精神がなければ、絵に描いた餅になります。

現在、支部において素晴らしい懇親事業を行っていただいておりますが、本会としての親睦事業も充実させたいと考えています。ここで私が大切にしたいのは、①会員同士の親睦、②家族を巻き込んだ会員の絆、です。400人規模の会での事業立案は難しい部分も沢山ありますが、知恵を絞っていききたいと思います。

いきなり多くを変えることが難しい事は分かっていますが、谷理事率いる厚生部は、一生懸命取り組んでくれています。そのいくつかをご紹介したいと思います。クリスマスパーティーは、土曜日の開催を強く要望していましたが、ホテルの都合で日曜日のお昼の開催となりました。医院従業員

の忘年会を兼ねておられる先生方には、申し訳なく思います。しかしその分、くじ引きの景品としてホテル提供の宿泊券やディナー券などの本数を増やしていただき、またその他景品も厚生部が魂込めて準備してくれています。また、あくまで会員懇親事業であることを

鑑み、ご来賓のうち政治家の先生方には、新年互礼会にお越し頂くこととしてご案内を差し上げませんでした。長い挨拶より、楽しい時間を共有したいと思います。新年互礼会は、これまで三役が中心となって立案していましたが、今回初めて厚生部の担当事業に位置づけました。新年互礼会は対外的意味合いもありますので、政治家の先生方にもお越し頂きます。今回は鏡開きなどの工夫で、思い切って乾杯までの時間を短縮し、また、皆様あつと驚くしつらえもご用意しました(当日までの秘密です、笑。)。対外的な側面と、会員懇親の部分とを調和させて、皆様にとって楽しい時間になるよう努力します。どうぞ新年互礼会(1月4日土曜日開催)におこしください!

人気のカーブ観戦は、現在すで

に来シーズンにむけて球団と交渉中ですが、一度に多くの会員同士が交流できるよう、150人規模のパーティールームの確保を目指しています。

来年度の実施予定になりますが、新たな懇親事業も厚生部で検討してもらっています。これは、特に会員家族、なかでもお子さんに参加頂けるような事業です。会員家族に歯科医師会を理解して頂くことで、会員の会務への参加のハードルが下がることも期待しています。

本会100周年の歴史は、先輩方の愛会精神や公衆衛生に掛ける思い、そして医療人としての高い倫理観の延長線上に存在していることを強く感じています。会費という浄財を、会員の皆様にきちんとお返しできるような事業を考えていきたいと思っています。

支部だより

中区支部

第15回 認知症研修会

日時：10月30日(水)午後6時50分

場所：広島文化学園ホール

中区医師会所属にて、村上智子ふないり脳クリニック副院長座長の下、標記の会が開催された。講師に川畑信也「八千代病院 愛知県認知症疾患センター」の川畑信也センター長を迎え、「ゼロから始める認知症診療～私の診療室からみたアルツハイマー認知症の診断と治療～」という演題で、講演が行われた。

講演内容は認知症の中でも、主に「アルツハイマー型認知症」に焦点をあてたものであった。まず始めに、人間が加齢すると共にみられる状態に「生理的老化」から始まり、同年代より認知機能低下が目立ちだす、「軽度認知障害」。日常生活に障害が出現する「アルツハイマー型認知症」といった、それぞれのちがいを実にわかりやすく講演されたのであった。

そして、「アルツハイマー型認知症」と「非認知症」との鑑別点のポイントなどが述べられ、その重要な点はいかに正確な問診と、家族から日常生活における変化した点を聞きとるかということであった。特に興味を惹いたのは、中等度から重度の状態の「アルツハイマー型認知症」は比較的容易に診断がつくが、軽度の状態は難しいとのことであった。

それから、薬物療法の話へと移行し、講演時間はあっという間に終了したのであった。

この度の講演はコメディカルの職種も参加していることもあり、専門的用語を比較的に少なくしてあったこともあり、非常にわかりやすく、歯科において特に高齢者の診

療において、いろいろと役に立つ部分も見出されたのであった。

なおこの研修会には、中区支部より波田佳範支部長、石田一輝氏、鎌田一道氏、小松大造氏の4名が出務した。



参加した宮城昌治中区厚生部医務監・(事)健康長寿課課長と村上智子ふないり脳クリニック副院長と中区支部会員

東区支部

東区救急蘇生講習会

日時：11月5日(火)午後7時

場所：JR 広島病院 3階「大会議室」

標記の会が開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、医療法人JR広島病院で対象者は医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員、地域包括支援センターで、計76名(東区支部より高山智行氏(安芸東区ブロック)、野村登志夫東区支部長、竹本美保東区副

支部長)が参加した。岡本有三 JR 広島病院診療部長(広島市東区医師会災害・救急委員会委員)の司会により、佐藤修治広島市東区医師会会長(広島市東区地域保健対策協議会会長)の挨拶で始まった。まず、寺川宏樹 JR 広島病院循環器内科部長より「一次救命処置(BLS)を楽しく学びまし

よう～事業所における救命救急～」という題目で有効な心肺蘇生(CPR)・早期除細動の重要性についての講演が事例を交えてあった。その後、「迅速かつ有効な胸骨圧迫ができること」および「AED を安全に使用できること」を目標に、グループに分かれての実習が行われた。CRP の手順や呼吸の確認、適切な胸骨圧迫の方法および AED の使用方法について参加者が心肺蘇生訓練用人形を用いて交代で実習を行った。最後に岡本部長の総評で閉会した。



講習会の様子

南区支部

第 20 回 南区ボランティアフェスティバル

日時：10月27日(日)午前10時

場所：南区役所別館

標記の会は「いっしょに進もう・楽しもう!!」をテーマに、ボランティア活動を始めてみたい方のきっかけづくりや、ボランティアグループの活動紹介、参加者とボランティアの交流の場として開催された。

我々が参加した「元気じゃけんみなみ」では、南区保健センター・医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・南区スポーツセンターが参加し、健康相談や体験会等を行った。他に、地域包括センターによるいきいき百歳体操、地区社会福祉協議会の活動紹介、啓発コーナー(共同募金・児童虐待防止)、各種体験(車椅子・点字・手話・アイマスクなど)、区内の作業所自主製品販売、遊休品バザー、軽食喫茶コーナーなどの催しが設けられた。

歯科医師会では、本会南区支部より古谷知之支部長、橋本直典副支部長、伊達弘恵氏、内田雄士氏、河原利哉氏、福井康人氏が出務し、口臭測定・口腔がん健診・歯

科健診相談を行った。歯科ブースへの来場者は40人で、内訳は口臭測定19人・口腔がん健診7人・歯科健診相談14人であった。秋晴れに恵まれ全体で1,400人近い来場者があり、大盛況のフェスティバルであった。



会場の様子

令和元年度 広島市在宅医療・介護連携推進事業 広島市南区市民公開講座

日時：11月2日(土)午後2時

場所：広島市南区民文化センターホール

南区地域保健対策協議会と南区役所の主催で、「令和元年、人生会議を始めませんか?」と題した標記の会が開催され、中高年層を中心として多数の住民が参加した。

宮本一彦南区地域保健対策協議会理事が司会を務め、半田徹同会長及び漆原正浩南区長の挨拶により市民公開講座は始まった。最初に、中谷玉樹南区医師会理事が「私の心づもり」と題する講演を行った。中谷氏は、終末期

において7割の患者が自己による意思決定が不能になること、患者が予め終末期の重要事項について代理決定者、医療者と話し合うことで深い相互理解が得られること、病状や治療内容の変化によって定期的に見直すことが大切であることなどについて解説した。

続く特別講演では、俳優の高橋英樹氏が「生涯現役!健康で楽しく!」と題する講演を行った。高橋氏は父親

の存在、俳優人生を通じての仲間、先輩、後輩との交流、健康法などについてエネルギッシュ且つユーモラスに語り、講演終了時に観客は拍手喝采した。

最後に有馬隆南区地域保健対策協議会理事が閉会の辞を述べ終了した。



閉会の辞を述べる

有馬隆南区地域保健対策協議会理事

令和元年 南区支部学術講演会

日時：11月15日(金)午後7時30分

場所：県歯会館6階「会議室」

標記の会が開催された延原浩県立広島病院歯科口腔外科部長を講師に招き「周術期口腔ケアの効果と患者指導のポイント」という演題で学術講演会を開催した。

福井康人氏司会のもと古谷知之南区支部長の挨拶があり講演がおこなわれた。

延原部長は、周術期口腔ケアの効果とし侵襲時の生体反応を改善する事で手術部位感染(S S I)予防や術後合併症予防、化学療法における口腔内有害事象の軽減の効果があると報告された。

次に口腔ケア患者指導のポイントとし

①食べない時こそ口腔ケア

②体のための口腔ケア

食後より食前が大切、まずは起床時の習慣づけから

③舌の清掃が大切

④術後感染(S S I, 肺炎)が発生すると病気(癌)が再発し

やすいので、命がけで口腔ケアする価値あり

4点を挙げられた。

質疑応答では、歯科診療時での周術期口腔ケアの病診連携、保険でのポイントに関しても具体的に受け答えされた。

最後に閉会の辞を橋本直典南区副支部長が述べ、盛況のうちに終了した。

その後、講師を囲み懇親会を行い散会となった。



講演会の様子

西区支部

第5回 井口台・井口圏域 「在宅医療・介護関係者の連携会議」

日時：10月26日(土)午後3時

場所：草津病院北館「作業療法室」

標記の会が井口台・井口地域包括支援センターにより開催された。

佐藤悟朗草津病院院長の開会挨拶があり、井口台・井口地域包括支援センターから「わが町の地域包括ケアシステム」として地域の現状説明がなされた。続いて望月マリ子広島県介護支援専門員協会副会長より「事例を通して介護

予防・日常生活支援総合事業を考える」という演題で講演が行われた。まず、軽度高齢者支援について、今までのパターンとこれからのパターンについて説明された。そして明らかになってきた介護予防ケアマネジメントで重要なことを説明された。意欲の源を見極めること、なじみの関係からなるべく切り離さないことをポイントにあげられ

た。そのままポイントについてグループワークで事例を通してディスカッションが行われた。様々なアイデアが出て、本来の介護予防、自立支援の形が、今までの経験から明らかになってきた事を参加者が共有できた。次に職域紹介が訪問サービスとして佐藤小百合サンキ・ウエルビィ介護センター本店管理者、通所サービスとして森みどりリハプライド井口生活相談員より説明された。吉岡寛子井口台・井口地域包括支援センター長の総評の後、濱井千年世西区健康長寿科課長から閉会の挨拶があり、広島市の総合事業についての取組と井口台・井口地区の優秀な結果について説明があり閉会された。この会には本会西区支部から角田達

彦支部長、豊田育星氏、濱岡代枝氏が出席した。その後同会場にて交流会が行われた。



(左から)出席した
豊田育星氏と角田達彦西区支部長と濱岡代枝氏

平成31年度「在宅医療・介護連携 西区地域保健対策協議会講演会」

日時：10月30日(水)午後7時

場所：リーガロイヤルホテル広島3階「宮島の間」

広島市西区地域保健対策協議会主催で標記の会が開催された。山本匡広島市西区地域保健対策協議会会長の開会挨拶の後、「西区医師会認知症初期集中支援チームの活動について」として落久保裕之広島市西区医師会副会長より説明があった。続いて「介護予防・日常生活支援総合事業は地域づくり」として油野初音広島市古田地域包括支援センター長から説明がなされた。田代忠晴広島市西区地域保健対策協議会副会長の挨拶で閉会した。休憩の後、広島市西区医師会主催により『広島市西区医師会学術講演会』が行われた。明海国賢明海耳鼻咽喉科医院院長の座長の下、「女性につらいめまいに効く～めまいリハビリと治療薬の選択～」という演題で新井基洋横浜市立みなと赤十字病院めまい平衡神経科部長より講演が行われた。各地で講演される人気のある先生で、めまい外来で多くの方に診療とリハビリに携わっており豊富な経験の元、時にジョークを交えながら情熱をもってわかりやすく説明された。現在の

診断基準、リハビリでの実習診断後の対処などが理解できた。この会には本会西区支部から角田達彦支部長、岡田浩幸氏、豊田育星氏、濱岡代枝氏、堀健太郎氏、松村英朗氏、宮迫隆典氏、森川英彦氏が出務した。



講演会の様子

西区支部「第35回 西区民まつり」

日時：11月3日(日)午前8時30分

場所：西区西部埋め立て第五公園

標記の会が開催され、西区支部から角田達彦支部長、竹田芳弘副支部長以下、柄博紀氏、中谷美奈子氏、山田英太郎氏、山根一芳氏の計6名の会員が西区地域保健医療対策協議会の一員として出務した。当日はあいにくの曇り空で時折、雨もぱらつき肌寒い気候に加えて、同日に開催された広島国際平和マラソンのため付近が交通規制となっ

たためか、歯科のブースでは恒例のプレストロンによる口臭測定に51名、歯科相談に22名、矯正相談に8名と昨年の半数を下回る来訪となった。今年も昨年同様20代・30代が少なく幼児と高齢の方が多く、世相を反映しているようだったが、参加した各歯科医師は解散の午後3時30分まで充実した一日を送り、帰路についた。



(左) 活動の様子 (右) 参加した西区支部会員

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起こっています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。今後も毎月2～3事例ずつご紹介していきます。

事例1: セカンドオピニオンを求めるべきか迷っている

先日自宅近くの歯科を受診した際、歯がだめになっており、「差し歯を取る、仮歯を作るのに一週間ぐらいかかる。」と言われた。それまで歯のない状態になる。歯科医は「マスクでもしておけばいい。」と言うが、仕事上マスクができない。また「根っこの治療は三か月ぐらいかかるし、保険がきかないかもしれない。」とも言われている。このまま今の歯科医院で治療を続けていいものなのか、セカンドオピニオンのために他院を受診しようかと迷っている。**(センターの対応)**

治療内容の妥当性については、当センターでは判断できず、歯科医師に歯の状態や治療内容を詳しく聞くのが望ましいことを伝えた。相談者は「何か聞きにくい。」と、他院受診に気持ちが傾いている様子。歯科医師会で治療の相談ができるかもしれないので、その上で継続か他院受診かを決めることを勧めた。

(コメント)

近年、セカンドオピニオンを求める患者さんが増えてきています。治療説明は十分にいき、患者さんとの信頼関係を築けるよう心がけましょう。また、セカンドオピニオンを求められた際は、前医やそ

の治療に対する批判をするのではなく、第三者から見た客観的事実を伝えるようにしましょう。

事例2: 自由診療で行った治療の不具合とその対応に不満がある

保険を使った歯は、ガクガクしてみっともない。歯の治療は全て自由診療でしている。昨年夏に奥歯の治療をして白い被せ物を入れたが、今ガタガタに壊れている。奥歯だからもっと強い素材で作ってくれたらいいのに。「今回は無料で治療するが今度壊れたら知りませんよ。」と言われた。

(センターの対応)

「自由診療に関しては全て歯科医師との契約になるので、よく話を聞き、文書を貰うなりして補償の確認をしたほうがいい」と伝えた。「え、そんな話初めて聞いた。何回か歯科を変ったが、誰もそんなこと言わない。」契約に関する相談は消費生活センターになることも伝えると「あ、そう。ありがとう。」とのこと。

(コメント)

自由診療を行う際には、材質の特性やそれぞれの料金、保証期間や補償の条件などを十分に説明しましょう。用いる材料により、生じる可能性がある不具合についても説明しておくといでしょう。

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QR コード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼内閣府の全世代型社会保障検討会議で定額負担に反対の意示す一日歯

日本歯科新聞 (2019年11月21日)



http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2019/index.html#1119_13

誰もが安心できる社会保障制度に関わる検討を行うために内閣府が8日に開催した第2回「全世代型社会保障検討会議」で、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会がヒアリングを受けていたことが分かった。9日に大分市のホテル日航大分で開かれた「『中国・四国』『九州』地区歯科医師会役員連絡協議会」の来賓あいさつで日歯の堀憲郎会長が報告した。堀会長は、緊急に安倍晋三総理大臣から三師会が招かれたと明かし、「代表して横倉（日医）会長が三師会で同意していた資料について説明し、その後に質問に答える形で行われた」と説明。「受診時定額負担について外来の多い歯科への影響が大きいのではないかと」の質問があり、その通りと申し上げた」と明かした。

▼“団塊世代が75歳になると…保険財政悪化”改革求める 健保連

三重県歯科医師会 (2019年11月22日)

NHK NEWS WEB 2019年11月22日 16時46分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191122/k10012187291000.html>

健保連＝健康保険組合連合会の全国大会が開かれ、団塊の世代が75歳になり始める2022年から保険財政の悪化が見込まれるとして、後期高齢者の医療費の自己負担を引き上げることなど、抜本的な改革を求める決議を採択しました。

大企業の「健康保険組合」でつくる健保連＝健康保険組合連合会は、東京都内で大会を開き、およそ4000人が出席して決議を採択しました。それによりますと、いわゆる団塊の世代が75歳になり始める2022年以降、財政悪化が急速に進むと見込まれ、保険制度は危機的な状



況に陥るとしています。そして、制度を維持するために、原則1割となっている後期高齢者の病院での窓口負担を、75歳になった人から順次、2割に引き上げることや、薬の保険の適用範囲を見直すことなど、抜本的な改革を行うよう求めています。大塚陸毅会長は「現役世代の負担に過度に依存する今のままでは、国民皆保険制度を維持することは難しい。全世代で支え合う保険制度への改革が不可欠だ」と述べました。最後に、厚生労働省に決議を手渡し、政府の全世代型の社会保障制度改革に反映するよう要請しました。

▼医師の人件費など「本体」の引き上げ要望 自民の医療研究会

NHK NEWS WEB (2019年11月22日)



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191122/k10012187401000.html>

自民党の「医療政策研究会」のメンバーが菅官房長官と面会し、来年度の診療報酬改定では医師の人件費などにあたる「本体」部分を引き上げるよう求めました。

自民党の国会議員や日本医師会の役員らでつくる「医療政策研究会」のメンバーは22日、総理大臣官邸で菅官房長官と面会し要望書を提出しました。要望書では、来年度の診療報酬改定について医師の賃金の伸び率はほかの業種に比べて低く、働き方改革を進めるためにも医療機関に一定の手当てが必要だとして、医師の人件費などにあたる「本体」部分の引き上げを求めています。また、健康寿命の延伸や予防医療の発展に力を入れて取り組むよう求めているほか、病院の外来受診の際、窓口負担に一定額を上乗せする定額負担制度については、患者の負担が増え受診の抑制につながりかねないとして導入に反対するとしています。このあと、武見・元厚生労働副大臣は記者団に対し「医師の働き方改革に必要な新たな人件費などにしっかりと財源を確保してほしいと要望した。菅官房長官はよく話を聞いてくれた」と述べました。

ニュースピックアップ

▼もし災害にあったら…口腔ケア 大きじ2杯の水で命守る

産経ニュース 2019年10月29日

<https://www.sankei.com/life/news/191021/lif191021018-n1.html>

東日本で河川堤防が次々と決壊し、広い範囲に浸水被害をもたらした台風19号。断水や避難生活で水が十分に使えない状況では、健康の悪化も懸念される。



◎深刻な水不足時には、コップに大きじ2杯程度の水に歯ブラシを浸し、歯を磨いたらブラシの汚れをティッシュで拭い、また磨く…。これを繰り返して、最後にコップの水を数度に分けて口に含むという節水型の歯磨き法が紹介されていました。どんな非常時でも口腔ケアは大切です。

▼入れ歯 毎日手入れしないと… 75歳以上は肺炎リスク約1.6倍に

NHK NEWS WEB 2019年11月5日



https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191105/k10012164721000.html?utm_int=news-culture_contents_list-items_005&fbclid=IwAR00IKceur7HZc0crKA19rN_GLLrhSLs-AMv0m2_dqroe0H3Du7wJxI8cZ4

入れ歯を使っている75歳以上の高齢者が毎日手入れをしなかった場合、肺炎のリスクが、手入れしている人の1.58倍になることが東北大学などの研究で分かりました。

◎肺炎予防に口腔ケアの重要性が提唱されて久しいですが、同様に義歯の清掃も忘れてはいけませんね。デンチャープラークまみれの義歯を装着している患者さんには我々の啓蒙が必要です。

▼カンニング竹山さん“医療保険制度の厳しい状況に目を向けて”

NHK NEWS WEB 2019年10月7日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191007/k10012116051000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_009

高齢化の進展で、医療保険制度の財政悪化が見込まれる中、タレントのカンニング竹山さんらが参加して東京銀座でイベントが開かれ、制度の厳しい状況に目を向けてほしいと呼びかけました。

◎このイベントは大企業の従業員らが加入する健康保険組合でつくる、健保連＝健康保険組合連合会が開いたものです。会場では公的医療保険制度の厳しい状況を伝える動画が発表され、健康保険の重要性を訴えたそうです。健康保険を維持していくために、国民全体で真剣に取り組む必要があります。

▼「医療費の節約術」教えます 協会 けんぽ山形支部、HPで紹介

山形新聞 2019年10月7日

https://www.yamagatanp.jp/news/201910/07/kj_2019100700143.php

中小企業の従業員らが加入する全国健康保険協会(協会けんぽ)の加入者1人当たりの医療費が増え続ける中、同協会山形支部は節減の対応策「医療費の上手な節約術」をまとめた。支部ホームページで掲載。治療途中で受診先を変える「ハシゴ受診」など、医療費増につながる要因の抑制を呼び掛けている。

◎協会けんぽの山形支部が医療費の伸びを抑える節約術として、ハシゴ受診の抑制や時間外受診の抑制などを推奨しています。また、ジェネリック医薬品の利用促進も奨励しています。医療費を節約することは大切なことですが、患者自身が納得できる方法をとることも重要だと思います。

▼量子コンピューター演算で「スパコン超え」＝創薬に貢献も 米グーグル

時事ドットコムニュース 2019年10月24日

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2019102400810&g=int>

米グーグルの研究チームは23日付の英科学誌ネイチャーで、最先端のスーパーコンピューターで約1万年かかる計算を、同社の量子コンピューターを使い約3分20秒で解いたとする論文を発表した。実用化が進めば、医薬品開発などへの貢献が期待されている。

◎複雑な化学式が必要な創薬研究も量子コンピューターでサクサク進むといいですね。一方で暗証番号の解読など犯罪に使用される危険性もありそうです。

▼薬剤耐性菌 発生防ぐには…抗菌薬 必ず飲みきる

yomiDr 2019年11月2日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191021-OYTET50017/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai

抗菌薬(抗生物質)は、結核や肺炎などを患った時に使われる身近な薬だ。だが、ウイルスが原因の病気の時に飲むなど、誤った使い方をすると、薬が効かなくなってしまう。不適切な飲み方をする人が多く、問題となっている。

◎薬剤耐性菌は、適切に処方された抗菌薬を自己判断で止めてしまう事から起きるようです。自分自身に処方された場合はきちんと飲みきる事が大切です。そして我々も患者さんに抗菌薬を出す際には漫然と処方せず、用法・容量を考える必要がありますね。

▼若者に急拡大のフレーバー電子たばこ 肺疾患急増で規制の動き

産経ニュース 2019年10月11日

<https://www.sankei.com/life/news/191011/lif191011039-n1.html>

米国で急速に利用が広がっている「電子たばこ」への風当たりが強まっている。さまざまな風味にひきつけられた若者の間でファッション化する一方、吸引と関係するとみられる肺疾患の患者が急増しており、各地で販売を規制するなどの動きが出始めている。

◎アメリカでの話題ですが、最新の全国青少年たばこ調査で、青少年の電子たばこ使用率が継続的に上昇しており、これに伴い、米疾病対策センター(CDC)が電子たばこの使用を控えるよう警告を発しました。日本でも電子タバコについて早期に検討する必要があります。

▼無届けの幹細胞採取や投与、廊下のベッドで実施

yomiDr 2019年11月6日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191106-OYTET50006/?catname=news-kaisetsu_news

大阪医科大学(大阪府高槻市)の講師だった男性医師(52)による無届け再生医療事件で、脂肪幹細胞の人への投与などの再生医療が実施されたのは、研究室前の廊下だったことが、大阪医大への取材でわかった。

◎無届けで人を使った研究はもはや「人体実験」と言うべきではないでしょうか。しかもそれが災害時など緊急事態ならいざ知らず、病室ではなく廊下で行われていたとは、開いた口が塞がりません。厚生省によると、「局所麻酔や点滴投与などは医療行為にあたり、医療法に基づいて、医療行為が許される病院や診療所、介護施設などで実施する必要があります」とのことです。ところで在宅治療の場合はどうなのでしょう。

▼「ちょい忘れ」は認知症の始まり？ その原因、深刻度、改善策

yomiDr. 2019年11月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191113-OYTET50010/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shinso-news

よく知っている人の名前が出てこない、好きなドラマのタイトルを忘れてしまった……。きょうのテーマは「ちょい忘れ」。認知症の始まりかな、と不安に思っている方も多いと思います。

◎誰もが心配になる認知症です。外に出て人と交流する、趣味を楽しむ、などの他にも歯磨きも予防改善につながります。何より自分のため家族のためにも不安を感じたら早期受診が大切です。

▼50 歳を過ぎたら要注意！「加齢黄斑変性」自分でわかるセルフチェック法



NHK 健康チャンネル 2019年11月7日

https://www.nhk.or.jp/kenko/atc_522.html

加齢黄斑変性は、50歳を過ぎたころから発症の危険性が高くなり、場合によっては、40歳代後半で発症することもあります。放置していると、日常生活が困難になるほどの視覚障害になるおそれがあります。

◎男性に多いと言われる加齢黄斑変性ですが、我々歯科医にとって目は命！男性の先生方はもちろん女性の先生方も、セルフチェックや定期検診、禁煙や食事の改善など、できる予防法から始めましょう。

▼花粉症治療薬に「ゾレア」を了承…

厚生労働省

yomiDr 2019年11月1日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191101-OYTET50008/?catname=news-kaisetsu_news

厚生労働省の専門家部会は31日、重症の花粉症の治療薬として、ノバルティス社の「ゾレア（一般名オマリズマブ）」を了承した。

◎春先になると多くの「花粉症」の方を見かけます。皆さんマスク姿で苦しそうです。現在は対症療法が主と見受けられますが、根治療法が発見されればノーベル賞ものかもしれません。



▼ベルギーの元パラ選手が安楽死

リオ、ロンドンで金銀銅

共同通信 2019年10月23日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191023-00000012-kyodonews-int>

パラリンピックの車いす陸上女子メダリストで、脊髄疾患で痛みを苦しみ、安楽死の希望を公表していたベルギーのマリーケ・フェルフルトさん(40)が死を決断し、同国東部の自宅で22日、医師の投薬を受けて亡くなった。

◎日本では認められていない安楽死ですが、個人の考え方が多様化する昨今、改めて慎重な議論が必要な時期が来ているのかもしれない。



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

12月4日放送分

「乳歯は永久歯のナビゲーター」

広島市歯科医師会 谷巖範理事

乳歯は全部で20本。6歳から12歳ごろまでに永久歯へと生え変わります。生え変わりがうまくできないと、永久歯の歯並びや将来の健康に大きな影響が出ます。乳歯には「食べ物をかむ」という役割だけでなく、「永久歯が正しく生えるためのナビゲーター」という役割もあるのです。広島市歯科医師会理事の谷巖範さんが解説します。

12月18日放送分

「顎関節症について」

広島市歯科医師会 水内裕之理事

朝起きたらあごが痛かった、硬いものを噛んだらあごが痛くなったが、しばらくすると治った、あるいは症状が改善せず悪化して口が開かなくなったというような経験はありますか。「顎関節症」について、広島市歯科医師会理事の水内裕之さんがお話します。

誰もが納得！ I ♥ 広島弁じゃけえ。

～第2回～ 学生時代の思い出 ノルって何だ??

二葉里志さんは関西出身です。そういえば昔こんなことがありました……

広島歯科大学の六年生になり、病院での実習に緊張の日々を過ごしています。指導教官が患者さんを診療の様子を見学するのですが、ポーとしていると後から指導教官の質問攻めにあうのです。二葉さんは指導教官と患者さんのやり取りにこそ臨床のヒントがあると信じて熱心にメモを取ります。今週から口腔外科第一の見学実習です。補綴や保存の診療室と違って立位で診療する先生が大半なのと、外傷や悪性新生物など、患者さんの様子も違います。診療室を共用する口腔外科第二からは歯式をドイツ語で取るI准教授の声が聞こえ、大阪弁で学生を叱り飛ばすG教授の大きな声が響き渡ります。

今日は口腔外科第一のY准教授による口腔癌の術後健診の日です。Y先生に執刀してもらった多くの患者が順番を待っており、看護婦さんが順序良く診療室のチェアに案内します。二葉さんの他には同期の学生が7名、研修医や若手の医局員も8名でY先生の診察を取り囲んでおり、いやが上にも二葉さんの緊張感は上がります。Y先生は患者ごとにまず全身状態を確認し、続いて口腔内を診察します。若手の医局員に所見を口頭で伝え、医局員がカルテに記載しており、二葉さんの勉強にもなります。最後に頸部リンパ節への転移がないかを触診にて確認するのですが、Y先生はそのつど患者さんに「ノッテ」と言い、患者さんは必ず下顎を上にあげてY先生が触診しやすい体勢を取るのです。不思議に感じた二葉さんは隣にいる同期のMさんにヒソヒソ声で尋ねます。「ノッテって何語？初めて聞くんだけど」……



<ノリノリにノッテます(笑)>

◎老若男女問わず県内の多くの人が「下顎を持ち上げ、背中を反らす」ことを「ノル」(アクセントは「ノ」と表現します。勝手な推察ですが「ノ(ケゾ)ル」と関係しているのかもしれませんがね。Y先生の言った「ノッテ」は「下顎を上げてのけ反って」というニュアンスだったのです。ちなみに県内では母親が幼児に向けて「ノーンして」と言いながら下顎を持ち上げさせる様子もしばしば見受けられますが、これもノルの幼児語と言えるでしょう。乳幼児期からこんな母親に育てられた広島県民にとって、もはや広島弁という認識すらなく「ノル」「ノッテ」を使っているのかもしれませんがね。学校健診のように背もたれやヘッドレストのない環境下で術野を確保するのにも「ノッテ」は役立ちそうですね。明日からの臨床のお役に立てれば幸いです。※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

11 月定例理事会報告

「部外報告」

- 10月26日 「ライフステージに応じた歯科口腔保健推進検討会議」
郡市地区歯科医師会公衆衛生担当理事者研修会
- 10月28日 健康福祉局保健指導課長との協議
- 10月30日 広島県医師国保との協議(国保組合)
- 10月31日 広島市保育園及び認定こども園保健功労者表彰審査会
- 11月 1日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 11月 2日 日本法歯科医学会前日打合せ
- 11月 3日 日本法歯科医学会第13回学術大会
- 11月 6日 広島ホームテレビ収録
- 11月 7日 新規個別指導立会

- 11月 8日 「8020」いい歯の表彰式及び
グランドビューティフル歯ッション賞
認定証授与式
- ” 広島県歯科保健文化賞表彰式
(広島矯正歯科医会受賞)
- 11月10日 第4回薬と健康の「やく薬フェスタ」
- ” 広島県歯科医師国保組合説明会
(県)会員面談
- 11月16日 広島市医師会ゴルフ大会
- 11月17日 会員面談
- 11月19日 ” 国保連合会歯科審査部会
- 11月19-25日 社会保険診療報酬支払基金審査
(合議25日)
- 11月20-24日 国保連合会歯科審査部会

1 1 月 2 1 日 広島県歯科医師国保組合理事会
 1 1 月 2 2 日 広島大学二川教授と塩野義製薬との面談
 1 1 月 2 4 日 広島東洋カープ歯科健診
 1 1 月 2 5 日 広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院運営委員会
 1 1 月 2 6 日 三師会協議懇談会
 1 1 月 2 7 日 広島市保育園及び認定こども園保健功
 労者表彰式
 " 広島市教育委員会「歯・口の外傷対応パ
 ネル及びティースキーパーネオ」贈呈式

(連盟関係)

1 0 月 2 7 日 自由民主党広島政経文化懇談会
 1 1 月 1 8 日 地方政調会
 1 1 月 2 0 日 松井かずみを囲む会

(総務関係)

1 1 月 1 0 日 第 1 回学術講演会
 1 1 月 1 1 日 ぼるフェス反省会
 1 1 月 2 0 日 河内裕美氏との新年互礼会打合せ
 1 1 月 2 6 日 三役会
 1 1 月 2 7 日 定例理事会

(慶弔関係)

1 1 月 2 日 南区支部 妹尾博文先生ご尊父様ご逝去
 1 1 月 3 日 中区支部 小崎正晴先生 ご逝去
 1 1 月 2 0 日 南区支部 水内裕之先生 広島市長表彰
 (保健医療事業功労)
 " 広島市優良技能勤労者表彰
 旭町歯科医院 松坂優子
 中西歯科医院 富田珠代
 ア歯科広島東G小松診療所 葉幸栄
 1 1 月 2 1 日 中区支部 大西定先生
 広島県知事表彰(公衆衛生功労)
 1 1 月 2 2 日 南区支部 鍋島耕二先生ご母堂様ご逝去

(入会退会関係)

1 0 月 2 9 日 中区支部新規入会者説明会
 1 0 月 3 1 日 中区支部光山素夫先生入会
 " 西区支部三宅輝湖先生退会
 1 1 月 1 2 日 入会後面談(光山素夫先生)

(県歯理事会関係)

1 1 月 7 日 県歯理事会

(1) 総務部 (森本理事)

1 0 月 2 4 日 FMちゅーピー収録
 1 0 月 2 9 日 中区支部新規入会者説明会
 1 1 月 1 日 休日診療レセプト点検
 1 1 月 2 日 会員面談
 1 1 月 8 日 定例委員会
 1 1 月 1 2 日 入会後面談(光山素夫先生)
 1 1 月 1 4 日 (県)保険部常任委員会
 1 1 月 2 0 日 会員面談
 1 1 月 2 7 日 休日診療レセプト点検
 休日診療保険請求における留意事項に
 ついて

(2) 学術部 (花岡理事)

1 0 月 3 1 日 第一三共(株)と打合せ
 1 1 月 8 日 定例委員会
 1 1 月 1 0 日 第 4 回薬と健康の「やく薬フェスタ」
 " 第 1 回学術講演会
 1 1 月 1 1 日 ぼるフェス反省会
 1 1 月 1 8 日 第一三共(株)との打合せ

(3) 厚生部 (谷理事)

1 0 月 3 0 日 新年互礼会ハーモニーホール打合せ
 " 新年互礼会小泉本店打合せ
 1 1 月 1 0 日 第 1 回学術講演会
 1 1 月 1 2 日 厚生部定例委員会
 1 1 月 1 3 日 新年互礼会小泉本店打合せ
 1 1 月 1 9 日 令和元年度南区地域ケアマネジメント
 会議
 1 1 月 2 0 日 新年互礼会ハーモニーホール打合せ
 1 1 月 2 1 日 FMちゅーピー収録
 1 1 月 2 5 日 厚生部臨時委員会

(4) 地域歯科保健部

1 0 月 2 6 日 「ライフステージに応じた歯科口腔保
 健推進検討会議」
 郡市地区歯科医師会公衆衛生担当理事
 者研修会
 1 1 月 8 日 「8020」いい歯の表彰式及び
 グランドビューティフル歯ッション賞
 認定証授与式
 1 1 月 1 3 日 (県)地域保健部、学校保健部、介護・福
 祉医療部常任委員会
 1 1 月 1 5 日 定例委員会
 1 1 月 2 4 日 広島東洋カープ歯科健診
 1 1 月 2 7 日 広島市教育委員会「歯・口の外傷対応パ
 ネル及びティースキーパーネオ」贈呈式

<学校保健> (有馬理事)

1 0 月 2 4 日 FMちゅーピー収録
 1 0 月 3 1 日 (県)保育施設での歯科疾患及び歯科保
 健活動の実態調査会議打合せ
 1 1 月 2 日 (南区地対協)南区市民公開講座
 1 1 月 1 4 日 就学時健康診断
 1 1 月 1 7 日 第 58 回広島県歯科医学会
 ・令和元年度臨時健康診断及び就学時
 健康診断について
 ・歯鏡等の滅菌配送業務について
 ・令和 2 年度学校歯科医協議会について

<地域保健> (若林理事)

1 0 月 2 4 日 広島市障害者差別解消支援条例制定に
 向けた意見交換会
 1 1 月 6 日 広島ホームテレビ収録
 1 1 月 1 0 日 (県)世界糖尿病予防デー血糖測定イベ
 ント
 1 1 月 1 2 日 (県)産業安全衛生大会
 1 1 月 1 8 日 中区地域ケアマネジメント会議
 1 1 月 1 9 日 (県)摂食嚥下機能訓練研修会準備委員会
 1 1 月 2 1 日 広島市障害者差別解消支援地域協議会
 (令和元年度第 4 回)

<地域連携> (藤田理事)

- 1 1月13日 (西区地対協)中広圏域介護予防教室
 1 1月14日 アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業について
 広島大学歯学部教員松本、倉脇歯科衛生士と面会

(5) 広報部 (水内理事)

- 1 1月 5日 校正委員会
 1 1月 8日 「8020」いい歯の表彰式及び
 グランドビューティフル歯ッション賞
 認定証授与式
 // 広島ホームテレビとの打合せ
 1 1月10日 第1回学術講演会
 1 1月19日 情報調査委員会
 1 1月21日 FMちゅーピー収録
 1 1月27日 広島市教育委員会「歯・口の外傷対応パ
 ネル及びティースキーパーネオ」贈呈式

FMちゅーピー (新聞掲載)

- 1 2月 4日 「乳歯は永久歯のナビゲーター」
 広島市歯科医師会理事
 谷 巖範氏
 1 2月18日 「顎関節症について」
 広島市歯科医師会理事
 水内 裕之氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 1,714 (累計 138,180)
 ページビュー 8,769 (累計 460,280)
 会員サイト 訪問者 180 (累計 28,402)
 ページビュー 634 (累計 214,173)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 49件(10/16~11/20)

- (7) 特別委員会
 (8) 救急蘇生委員会
 (9) 歯科医療安全相談

- 1 1月 5日 相談 治療と医院紹介について(50歳代女性)
 1 1月19日 相談 原因不明の歯痛について
 (70歳代女性)
 1 1月21日 苦情 非会員の医療機関の苦情について
 (74歳男性 来館)
 1 1月27日 相談 ブリッジの修理について(60歳代女性)

「協議事項」

- (1) 会費について(2名)
 終身会員資格取得による会費額変更について
 2名承認。
 (2) 入会について(1名)
 中区支部の河島絃太郎氏の入会について承認
 (3) 会費等未納状況について
 継続審議
 (4) 学術講演会参加資格について
 継続審議
 (5) クリスマスパティーについて
 内容について協議
 (6) 令和2年新年互礼会について
 内容について協議
 (7) 広島市歯科医師会後期高齢者歯科健診研修会(謝礼)
 対応確認
 (8) アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業について
 内容について協議、継続審議
 (9) 年賀状送付先について
 決定・連絡
 (10) その他
 特になし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net
 広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba
本会PASS : 2622662
協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは**毎月25日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

